

2024 年度 臨床専門専修科生研修プログラム

| | |
|--|--|
| 講座名（臨床科名） | 口腔健康科学講座（摂食嚥下リハビリテーション科） |
| 主任教授 | 福田 謙一 |
| プログラム責任者名 （プログラムの管理・運営） | 石田 瞭 |
| プログラム修了時に資格要件を満たす学会認定等の名称 | 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士 日本老年歯科医学会認定医 日本障害者歯科学会認定医 |
| 研修期間（入学時期） | 2024 年 4 月～2025 年 3 月 |
| 受入れ人数（総数） | 若干名 |
| 指導医 | 石田 瞭、大久保真衣 |
| 修了の認定要件 | 規定の課題をクリアすることによる |
| プログラムの目的 | |
| 地域で生活する高齢者の多くは経口摂取に対する不全症状を呈し、今後、益々摂食嚥下リハビリテーションのニーズ増大が予想される。本プログラムは、このような患者の対応が可能なスペシャリスト養成を目的とする。 | |
| ユニット | |
| 摂食嚥下リハビリテーション科の臨床専門専修科プログラム | |
| 一般目標（GIO） | |
| 摂食嚥下リハビリテーションの専門家として活動するための知識、技能を修得する。 | |
| 行動目標（SBOs） | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・画像検査を含めて、摂食嚥下障害の的確な評価をすることができる。 ・評価に基づき、的確な摂食嚥下リハビリテーションプランを立案できる。 ・実際に摂食嚥下リハビリテーションを施行し、機能回復に貢献することができる。 | |
| 方略（LS） | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・臨床見学ならびに実技研修（研修先は水道橋、千葉から選択可能） ・症例検討会への参加 ・関連講習会、講義、学会への参加 | |
| 評価（EV） | |
| あらかじめ規定した課題（臨床見学、実技研修、症例検討会、講義等）に規定頻度参加の上、必要によりレポートや症例発表をもとに評価を行う。 | |
| プログラム修了時における学会認定医等の具体的申請基準 | |
| 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士、日本老年歯科医学会認定医、日本障害者歯科学会認定医いずれも 3 年以上の臨床経験と十分な症例数を必要とする。 | |
| 問合せ先 | 教授・石田 瞭 (rishida@tdc.ac.jp) |